

令和4年度 岡崎小学校 学校運営計画書(スクールプラン)

校長名 塩谷 通功

作成日 令和4年 4月28日

和歌山市学校教育指針

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の充実
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子どもの安全確保の徹底
- 地域とともにある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- あいさつができる
- 人の気持ちを考えることができる
- 規範意識の向上
- 保護者・地域との連携

【学 校 教 育 目 標】

強いからだと豊かな心を養い、自ら課題を求め、
よりよく生きようとする子どもの育成

【めざす子供像】

- ・豊かな心 (思いやりのある子)
- ・考える力 (考える子)
- ・実践する姿 (さきに行動する子)
- ・強い心とからだ (きたえる子)

前年度の学校評価

- 児童が主体的に取り組む授業改善
- 情報発信の工夫
- コロナ禍での児童の体力アップ
- 学校図書館教育の充実(司書との協働)

子供の実態

- 素直な態度で行動できる。
- 下級生を思いやる気持ちが育っている。
- 「書く」項目に課題がみられる。
- 「自分の考えや思いを言える」に課題がある。

重点目標

確かな学力の向上

- 思考力・判断力・表現力の育成
- 子供を主体とした、授業づくり
- 知識及び技能の習得
- 基本的な生活習慣の定着
- 読書環境の整備

豊かな心の育成

- 道徳教育を柱とした教育活動の充実
- 人権意識を高め、自他共に大切に
する教育の実践
- コロナ禍における仲間づくりの実践

健やかな体の育成

- 基本的な生活習慣の定着
- コロナ禍における体力向上の推進
- 安全教育の推進

地域とともにある学校

- 家庭・地域との連携を深める
- 地域の人材や資源の活用を図る

具体的な取組

◎学校図書館司書との協働により、読書活動の推進を図る。
○基礎学力の定着を図るために、学習タイムや放課後フォローアップ、読書タイムを活用する。
○学習指導の効率化を図るために、高学年で教科担任制を実施する。
○学力を定着させるため、「家庭学習の手引き」を配布し、保護者と連携を図る。

○道徳科での学びを、全教育活動と結びつけて実践力をつけていけるよう、指導方法の工夫を行う。
○道徳科の教科書や副読本を活用するとともに、教育活動全体を通して、人権意識を高める。
○定期的にアンケート等を実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める。
◎仲間づくりに繋げていくため、コロナ禍にできる教育活動を実践する。

○「早寝・早起き・朝ごはん」の大切さについて、「生活リズム調べ」を通して、児童に意識づけるとともに、保護者への啓発を行う。
◎継続的な体力づくりに取り組むためにチャレンジランキング等の記録会を活用する。
○避難訓練や交通安全教室などを行い、危機回避能力を高める。

◎学校便りやホームページを活用して、学校の情報(教育活動、学校行事等)を発信していく。
○地域ボランティアやゲストティーチャーと連携し、教育活動の充実を図る。
◎地域の産業や人材等を活用し、ふるさとへの愛着を育むとともに、将来の地域の担い手育成につなげていく。

指標

○全国学力学習状況調査及び県学習到達度調査において、特に「書く」領域での県平均値以上をめざす。
○アンケート「子供にわかりやすい授業の工夫をしている」で、90%以上をめざす。

○「いじめをなくす学校・学級づくりに取り組んでいる」(保護者80%以上をめざす)
○縦割りでの活動の機会を増やしていく。

○毎日朝ごはんを食べてくる児童95%以上を目指す。
○大休憩ランニングなど、体力の向上を図る取組を増やしていく。
○設定を変えて、学期に一度は避難訓練を行う。

○保護者へのアンケートで、「教育活動や子どもの様子を分かりやすく知らせている」について85%以上を目指す。
○ゲストティーチャー等、多くの方々に学校に来ていただき、地域に開かれた学校をめざす。

◎…特に重点的に取り組むこと